

- 問1 明治時代に北海道に導入された屯田兵という制度について、その目的と背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
- アイヌの人々との交流を円滑に進めるため、政府の使節団として文化の紹介を行うため。
 - 諸外国との貿易を拡大するために、函館を中心とした港湾施設の整備と防衛を担うため。
 - ロシアによる南下への備えといった北方の警備と、未開地の開拓を同時に行うため。
 - 版籍奉還によって職を失ったすべての武士に対し、新しい軍隊の幹部候補として教育を行うため。
- 問2 明治初期、1877年に鹿児島県を中心に発生した西南戦争の主な背景として、最も適切な説明はどれか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- 欧米列強による開国要求に反対する人々が、攘夷を目的として政府軍に戦いを挑んだこと
 - 地租改正による重い税負担に苦しむ農民たちが、全国各地で一斉に蜂起したこと
 - 廃刀令や秩禄処分によって、特権を失った士族たちの政府に対する不満が高まったこと
 - 自由民権運動が激化し、国会の開設を求める人々が各地で武装したこと
- 問3 明治時代、政府が北海道の開拓を進める中で、アイヌの人々の生活に与えた具体的な影響として正しいものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- 伝統的な狩猟やサケ漁が禁止され、農業中心の生活への転換が求められた。
 - 広大な土地の所有権がアイヌの人々に与えられ、和人の入植が厳しく制限された。
 - アイヌ独自の言語を公用語として認め、学校教育でアイヌ語の授業が義務付けられた。
 - 伝統的な刺青(いれずみ)や耳輪などの風習を、日本の新しい文化として奨励した。
- 問4 1885年に内閣制度が創設された時期の日本において、政府が推進していた経済や社会の動きとして最も適切な説明はどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- 犬養毅首相が海軍将校らに暗殺される五・一五事件が起こり、政党政治が中断した。
 - 日中戦争の長期化に対応するため、国家総動員法が制定されて経済の統制が強まった。
 - 吉野作造が民本主義を提唱し、普通選挙の実現を求める護憲運動が展開された。
 - 渋沢栄一らが経済界をリードし、官営模範工場の設立などの殖産興業政策が進められた。
- 問5 1911年から1912年にかけて中国で起こった政治的な変化とその意義について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- 日本との戦争に勝利したことをきっかけに、共産党が主導する社会主義国家が誕生した。
 - 清が欧米列強を完全に排除し、皇帝を中心とした強力な中央集権体制を再建した。
 - 清の皇帝を維持したまま議会を開設し、アジアで初めての立憲君主制へと移行した。
 - 辛亥革命によって皇帝政治が終わり、国民に主権があるとする共和制の国家が樹立された。
- 問6 明治後期の日本において、大阪紡績工場に代表されるような紡績業や製糸業といった近代産業が急速に発展した背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- 軍備を制限することで得られた余剰資金が、民間の軽工業分野へ集中的に投資された。
 - 欧米諸国との間で関税自主権を完全に回復したことにより、安価な原料を無税で輸入できるようになった。
 - 労働組合の結成が政府によって推奨され、労働環境が改善されたことで生産効率が飛躍的に向上した。
 - 農村出身の女子工員らによる低賃金での長時間労働が、国際競争力のある製品生産を支えていた。
- 問7 1881年に明治政府が10年後の国会開設を約束したことを受けて、自由民権運動の指導者であった板垣退助を党首として結成された、日本で最初の政党を選びなさい。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- 自由党
 - 日本自由党
 - 立憲改進黨
 - 立憲帝政党
- 問8 1872年に明治政府が群馬県に設立した富岡製糸場について、その設立目的と特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- 日清戦争の賠償金をもとに、鉄鋼の自給自足を目指して北九州に建設された
 - 民間の資本によって設立され、蒸気機関を用いた大規模な綿糸の生産を行った
 - 欧米の技術を導入して生糸の増産と品質向上を図るための官営模範工場として設立された
 - 士族の授産を目的として、北海道の開拓地で羊毛の加工を行うために作られた
- 問9 明治時代の外交史において、領事裁判権の撤廃が実現した時期を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。なお、条約改正の歩みには、岩倉使節団の派遣、鹿鳴館時代、憲法発布、日露戦争、関税自主権の回復といった重要な節目があるものとします。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- 大日本帝国憲法が発布された後から、日露戦争が勃発するまでの間
 - 岩倉使節団が欧米を訪問していた時期と、鹿鳴館で外交官を接待していた時期の間
 - 第一次世界大戦が終結し、日本が国際連盟の常任理事国になった後の時期
 - 日露戦争の講和会議が行われた後から、関税自主権が完全に回復するまでの間
- 問10 1905年、アメリカの大統領セオドア・ルーズベルトの仲介によって結ばれたポーツマス条約の内容と、その後の日本国内の状況について述べた文として正しいものはどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
- 条約締結によって増税が廃止されることが期待されたが、実際にはさらなる増税が決定したため、全国で米騒動が勃発した。
 - 日本は賠償金として2億両を獲得することに成功したが、ロシアに遼東半島を返還することになったため、国民が政府を批判した。
 - ロシア国内の社会情勢が悪化したため、日本はロシア全土を占領することに成功し、多額の賠償金と広大な領土を獲得した。
 - 日本は南樺太の割譲や韓国における指導権を認められたが、賠償金が得られなかったため、講和に反対する国民が暴動を起こした。
- 問11 1894年に始まった日清戦争から、1904年に始まる日露戦争までの約10年間の外交史において、三国干渉に関連して起きた出来事の説明として正しいものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- 三国干渉を受けた直後、日本は清の反乱軍である義和団を鎮圧するために大軍を派遣した。
 - 三国干渉の翌年、日本は下関条約の修正を行い、遼東半島の代わりに台湾を領有した。
 - 三国干渉の結果、日本は賠償金の受け取りをすべて破棄し、国際社会での信用回復に努めた。
 - 三国干渉でロシアに屈した日本は、対抗するためにイギリスとの間で日英同盟を結んだ。
- 問12 1872年に明治政府が、輸出の主力製品であった生糸の品質向上と増産を図るために群馬県に設立した、フランスの技術と機械を導入した日本初の本格的な機械製糸工場の名称を選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- 長崎造船所
 - 富岡製糸場
 - 足尾銅山
 - 八幡製鉄所
- 問13 明治時代、多くの知識人が欧米の進んだ技術や思想を学ぶために海外へ渡りました。その一人で、ドイツ留学の経験をもとに、ベルリンを舞台として現地の女性との交流や知識人としての苦悩を描いた小説『舞姫』を執筆した人物は誰ですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- 野口英世
 - 夏目漱石
 - 志賀直哉
 - 森鷗外